

2022 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

実務者のための栄養ケアプロセス研修会

■主任研究者 塚原丘美

■共同研究者 立花詠子、畠山桂吾

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】「管理栄養士として対象者への栄養ケアにどのようなアプローチが必要なのか？」について、短期集中的にグループディスカッション等をする中で、広い視野をもって患者さんの栄養管理計画を作り、どのようなアウトカムを期待してPDCAを回していくのかを深く検討できるように、ベーシックトレーニングと分野別ワークショップの2部形式で研修会を開催した。

【方法】

対 象： 医療・福祉分野で栄養管理を行っている実務者（管理栄養士）

日 時： 2023年2月19日（日）10：00～15：00

場 所： 名古屋外国語大学名駅キャンパス（サテライト）および オンライン（Zoom）

1部 10：00～12：00 ベーシックトレーニング

「動画作成のレベルアップに必要なこと」

講師：名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科 郷司 麻由 先生

「管理栄養士のための初めての広報DX」

講師：名古屋栄養専門学校 平田 芳浩 先生

司会進行：畠山桂吾

2部 13：00～15：00 分野別ワークショップ

①急性期（#ICU #術後 #輸液 #がん #NST）

「【症例から学ぶ】栄養開始のタイミングを見極める！—患者の状態を把握して栄養管理に生かすには—」

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 須田 真実 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 畠山 桂吾

司会進行：畠山桂吾

②慢性期（#栄養指導（DM・CKD等）#リハビリテーション栄養 #給食管理）

「管理栄養士が算定できる診療報酬について考える～せっかくできた診療報酬、算定していますか？～」

愛知医科大学病院 原 なおり 先生

名駅東クリニック 橋本由香梨 先生

司会進行：立花詠子

③高齢者（#施設 #フレイル #嚥下障害 #認知症 #サルコペニア #重度要介護）

「高齢者の健康を切れ目のない栄養管理で支える～病院と施設・在宅の栄養管理方法の違いを把握する～」

社会福祉法人英楽会 楓林花の里 小島 三枝 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 村瀬 朱音 先生

司会進行：塚原丘美

【結果・まとめ】

昨年に引き続き2部に分けて行った。午前中のベーシックトレーニングには対面32名（うちスタッフ8名）、オンライン10名が参加した。午後は、急性期分野は18名（うちオンライン5名）、慢性期分野は7名（うちオンライン2名）、高齢者分野は7名（うちオンライン4名）が参加した。

今年度の内容は、臨床業務だけではなく動画作成や広報活動についての勉強会を開催した。また、午後は参加者が興味のある分野、現在の業務に関係のある分野を選んで学べるようにした。よって、終了後のアンケートでは、午前、午後のどちらも、受講前と比べて参加当初の目的達成度、理解度が受講後は上がっていた。よって、全体を通して非常に有意義な研修であったと考える。